

設立50周年記念  
会津総合開発協議会  
50年のあゆみ

2013

# 設立50周年記念 会津総合開発協議会 50年のあゆみ

## 目次

### C O N T E N T S

あいさつ .....	5
会津総合開発協議会会长 会津若松市長 .....	室井照平
祝辭 .....	6
衆議院議員 菅家一郎	
衆議院議員 小熊慎司	
福島県知事 佐藤雄平	
福島県議会議長 斎藤健治	
回想 .....	10
前衆議院議員 渡部恒三	
会津総合開発協議会設立の経緯 .....	11
50年のあゆみ .....	12
会津を拓く講演会 .....	22
会津を拓く重点要望事項 .....	24
会津総合開発協議会 顧問・参与名簿 .....	25
会津総合開発協議会 会員名簿 .....	26



**只見線  
只見から大白川駅間延伸開業**  
(昭和46年8月)

会津若松駅から只見駅間を会津線から分離し、「只見線」に統合され、新潟県と接続した。



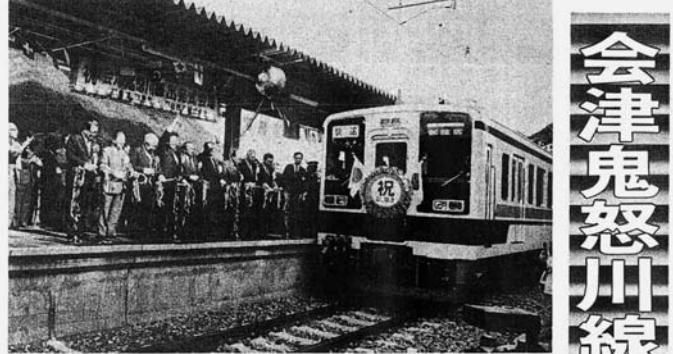
**国道289号 駒止トンネル開通**  
(昭和57年11月)

昭和46年度からの最重点要望事項が実現。



**会津鉄道電化開業** (平成2年7月)

首都圏との利便性向上のため電化開業した。



**浅草へ喜びの1番電車**



**会津鬼怒川線が開業**  
“夢”乗せ発車



**国道121号 大峠トンネル開通**  
(平成4年8月)

安全で快適な交通確保と冬期間における交通が可能となる。

**“夢”乗せ発車、野岩鉄道開業** (昭和61年10月)

会津と首都圏を最短ルートでつなぐ会津鬼怒川線が着工以来20年“祖父三代百年”的悲願を実らせた。  
東京浅草との直結も実現。



### 未来に羽ばたく人材育成へ 会津大学開学（平成5年4月）

4年制大学誘致の熱い情熱が大きな夢を開花させ、我が国初のコンピュータ理工学部の設置と多数の外国人教員が採用された。

### 高速交通時代へ ～磐越自動車道全線開通～ (平成9年10月)

西会津～津川IC間が供用開始となり太平洋から会津を経て日本海まで全線(延長213km)がつながった。

東日本大震災においては、復旧支援や支援物資の重要なルートとして大きな役割を果たした。



### 会津フレッシュリゾート構想 (平成5年12月)

アルツ磐梯スキー場オープン。



### 会津ナンバーは地域の誇り (平成18年10月)

悲願である「会津ナンバー」が新設され、会津地方の歩く広告塔として活躍が期待される。



### 自然を満喫！ 会津浪漫輪道が一部供用開始（平成11年10月）

会津若松熱塩温泉自転車道路の会津若松市区間および喜多方市区間の一部が開通。



### 磐越自動車道 新鶴スマートインターチェンジ供用開始 (平成19年4月)

観光地へのアクセスの利便性の向上や近隣観光地との周遊観光ルートの構築により、観光の活性化が図られるなど重要な役割が期待されている。



甲子トンネル開通（平成18年8月）



南会津地域と県南地域が新たに結ばれ、文化や経済、観光などの幅広い交流を通じた地域ネットワークづくりが実現した。



国道289号甲子道路開通（平成20年9月）



会津縦貫北道路一部供用開始  
塩川～湯川北IC供用開始（平成21年10月）



喜多方～塩川IC供用開始（平成23年11月）



湯川北～湯川南IC供用開始（平成25年9月）



会津縦貫南道路  
国道121号湯野上バイパスが国直轄権限代行事業となる（平成24年4月）

会津縦貫北道路と連結することで、近隣地域の産業、観光資源などを有機的に結ぶ広域ネットワークの構築に期待が集まる。

## あいさつ



会津総合開発協議会会長  
会津若松市長

室 井 照 平

会津総合開発協議会は昭和38年7月、会津地方の総合的な開発を促進するために設立されました。

発足以来、「会津はひとつ」のスローガンのもと、全会津市町村が一致団結して地域発展のため取り組んでまいりましたが、本年で50年という記念すべき年を迎えることができました。

これも、ひとえに、関係各位のご指導ご支援の賜物であり、ここに深く感謝申し上げる次第であります。

さて、会津地方は、歴史、文化、気候を共有する地域ではありますが、5,420km<sup>2</sup>と千葉県や愛知県とほぼ同等の広大な面積を有しており、このような広い地域の市町村が一つにまとまり、協議会を構成し、半世紀にもわたり活動を継続していることは、他地域には見られないことであり、会津地域の結束力を雄弁に物語るものと考えております。

特に、行政である首長と議会の議長が、郷土会津の発展のために一丸となって取り組む姿は、大変意義深いものがあり、その強固な結束力の原動力は、会津の発展を願ってやまない、郷土を愛する心にほかならないと確信しております。

会津総合開発協議会は設立以来、多くの方々から暖かいご支援ご指導をいただきながら、会津地域の開発促進のため、様々な事業実現に向け取り組んでまいりました。

磐越自動車道の開通や会津大学の開学、第三セクター会津鉄道や野岩鉄道の開業、国道

121号大峰道路の開通、会津ナンバーの交付、国道289号甲子道路開通、会津縦貫北道路の一部供用開始など、多岐にわたる事業が実現されたことは、多くの諸先輩方、関係各位の長年にわたるご尽力の成果であり、これらたゆまぬ努力によって今日の会津が築きあげられてきたのです。

協議会発足より半世紀、幾多の夢の実現の反面、会津を取り巻く環境もめまぐるしく変化しました。過疎化少子化の進行やバブル崩壊と長びく不況、平成の大合併、そして東日本大震災や新潟福島豪雨被害など、設立当初は想像し得ない状況変化の中、当地域の復興と再生、そして更なる発展のためには、これまで以上の固い結束と行動力が必要であり、そのためにも本協議会の果たす役割と責任は誠に大きなものがあるといえます。

今回の記念すべき設立50周年を一つの契機とし、会津の開発促進、そして豊かな会津の実現のため、関係各位のご指導のもと、今後とも会員相互の一層の団結と研鑽を積み重ねる所存であります。

最後になりますが、当協議会活動にあたり、ご支援いただいております国会議員、県会議員の皆様、知事をはじめとする福島県の皆様、関係団体各位の皆様に心から御礼を申し上げるとともに、今後も、これまで以上のご指導ご協力をお願い申し上げ、あいさつとさせていただきます。

# 祝　　辞



衆議院議員

菅　家　一　郎

この度は、会津総合開発協議会が昭和38年の設立以来、50周年を迎えられます事に心からお祝いを申し上げます。

会津総合開発協議会は「会津はひとつ」の理念の基に、今まで会津地方の総合的な開発を目指して様々な事業や陳情要望活動を積極的に展開され、会津地方の振興と活性化に多大な貢献をされておられます。心から敬意と感謝を表する次第であります。

特に磐越道の四車線化、会津縦貫北・南道路の整備促進、会津ナンバーの実現、国道289号線の下郷-白河間開通など会津が大きく飛躍するための基盤が着々と整備されつつあり、本協議会の今後の活動に寄せる期待は誠に大きいものがあります。また、本年はNHK大河ドラマ『八重の桜』が放映され、145年前の会津の歴史に光があり、大変明るい話題となっています。全会津17市町村が一体となりながらも、それぞれの地域の特性を生かしながら観光産業や地場産業、先端産業、農林業等が調和しあった活力ある地域づくりを目指し、今後とも大いにご尽力賜りますことをご期待申し上げる次第であります。

最後に私事で恐縮ですが、会津若松市長及び会津総合開発協議会会长時代は

大変お世話になりました。また昨年末、皆様方のご支援によりまして衆議院議員として議席を得る事が出来ました。今後とも引き続き、東日本大震災に伴う原発事故の早期収束や除染、風評被害の払拭、長期避難されている方々の今後のあり方など震災課題の解決や会津地方の更なる発展のため全力を尽くして参る決意であります。

本日の設立50周年を契機に本協議会の益々のご発展と会津地方の大いなる飛躍発展を祈念し祝辞とさせて頂きます。

## 祝　　辞



衆議院議員

小　熊　慎　司

会津総合開発協議会設立50周年を心よりお慶び申し上げます。

また、これまで50年の長きにわたり「会津はひとつ」という理念のもと、会津地方の発展のためにご尽力をいただきました諸先輩方、関係各位に対し深く敬意と感謝を申し上げます。

これまでの会津総合開発協議会の歴史を振り返ると、その時代時代にあった会津発展のための働きかけをなされ、そのおかげで今日の会津地方の計画的開発、経済基盤の整備が確立されてきたところです。

また、会津鉄道と野岩鉄道の支援を通じ地域発展の推進役としてその重責を担って参りました。

新たな時代を迎え、少子高齢化等の急激な社会状況の変化や、東日本大震災、東京電力福島第1原子力発電所事故からの克服、復興、再生というこれまでに経験したことのない課題にも対応し、会津総合開発協議会がこれまで以上の責務を果たすことが求められています。

私自身も「会津はひとつ」の理念のもと、会津17市町村の皆様方と緊密な連携を図りながら、一緒に会津地方の発展に努力して参る所存です。

また、陳情・要望を受ける国会議員として、皆様方の思いを真摯に受け止め、その実現の為に粉骨碎身働いてまいりますことを50周年を機にあらためてお誓い申し上げる次第です。

最後に、会津総合開発協議会の益々のご活躍により、会津地方の更なる発展を祈念致しますとともに、今後とも皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げお祝いとさせて頂きます。

# 祝　　辞



福島県知事

佐　藤　雄　平

会津総合開発協議会が設立50周年を迎えた、記念誌を発刊されましたことを心からお喜び申し上げます。

貴協議会は、昭和38年の設立以来、「会津はひとつ」という理念のもと、会津地方の総合的かつ計画的な開発を目指し、半世紀にわたり様々な活動を積極的に展開され、会津地方の振興に多大な貢献をされますとともに、本県の発展に大きく寄与されましたことに対し、心から敬意を表します。

会津地方におきましては、甲子道路の開通や会津縦貫北道路の整備、尾瀬国立公園の新設など、生活や観光を始めとする地域産業を支える社会基盤等の整備が着実に進む一方で、近年発生した東日本大震災及び豪雨災害の影響や平成の大合併などにより、会津地方を取り巻く環境はめまぐるしく変化しており、会津地方の豊かな自然、歴史、文化を守りながら、これらを生かした地域振興を進めていくためには、貴協議会による広域的な取組がますます重要になってきていると考えております。

県いたしましては、昨年12月に復興計画を包含した新しい総合計画を策定し、「活力」、「安全・安心」、「思いやり」の3つの視点を柱に、人口減少・高齢化対策を始めとする

重点プロジェクトを推進しております。

会津地方につきましては、地域の特性を生かした交流促進、産業振興を図るとともに、地域の活力を高め、安全・安心を確保する取組を進めてまいり考えであり、これまで以上に貴協議会と連携し、知恵を出し合いながら、会津地方のさらなる発展・振興に取り組んでまいりたいと考えております。

結びに、会津総合開発協議会のますますのご発展と関係各位のご活躍をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

## 祝　　辞



福島県議会議長

斎藤　健治

会津総合開発協議会の設立50周年、誠におめでとうございます。

貴協議会は、昭和38年の創立以来、幅広い活動を通じて、会津地方の振興発展に多大な貢献をされてきたところであり、ここに記念すべき創立50周年を迎えたことに対し、心からお祝いを申し上げます。

全国的にも高名な歴史・文化と雄大な自然環境に恵まれたこの会津地方の現在の発展は、「会津はひとつ」の精神の下、各市町村が手を携え、貴協議会が中心となって、その時代の要請に応える事業の必要性を声高に訴えてこられた活動の賜物であり、改めて敬意を表する次第であります。

御承知のとおり、本県は、一昨年3月に発災した東日本大震災と原子力災害により甚大な被害を受け、今も多くの県民の皆様が避難生活を余儀なくさせられており、会津地方においても、同年7月の新潟・福島豪雨災害や原発事故に伴う風評被害等により、大変厳しい状況が続いております。

このような中、貴協議会が総力を結集され、道路の整備促進や産業振興、JR只見線の全線復旧、住民の安全・安心や風評の払拭等、会津地方の復興と更なる地域振興に必要な各種事業の実現のため、活発な活動を展開

されておりることは誠に力強い限りであり、今後、貴協議会への住民の期待もますます大きくなっていくものと存じます。

どうか、貴協議会におかれましては、この創立50周年を新たな契機に、組織と活動の一層の強化を図られ、引き続き、会津地方の復興と更なる地域振興に御尽力を賜りますとともに、会津地方から福島県の復興を牽引してくださいますようお願い申し上げます。

終わりに、貴協議会の限りない御発展と関係各位のますますの御活躍をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

# 回 想

## —議員生活53年を振り返る—



前衆議院議員

渡 部 恒 三

「駒止峠にトンネルを」というのは、私が政治家を志した原点である。県議会の最初の質問で、私は「駒止峠にトンネルを掘れ」と質問した。その後、建設省から出向していた土木部の道路課長が私のところへ来て「峠にトンネルを掘るには、国道にしなければなりません。新潟県から福島県に繋がる路線を国道に昇格させればトンネルを掘れます。幸い隣の新潟県に、田中角栄という、建設省に信頼のある国会議員がいます」と教えてくれた。さっそく私は、この路線を国道に昇格させる運動を始め、只見町の隣の入広瀬村の村長に案内してもらい東京・目白の田中さんの自宅に陳情に行ったのが、田中さんとの最初の出会いだった。

この路線が今の国道289号である。国道に昇格し、駒止峠には1982年にトンネルができた。私は国道289号整備促進のための期成同盟会の会長になり、2008年には甲子峠にトンネルが開通し、「駒止峠にトンネルを掘る」という私の政治のスタートが、甲子トンネルができるまでに繋がったのである。

若い頃、国政報告で町や村を歩くと、「橋を造ってほしい」「トンネルを掘ってほしい」という陳情が山のようにあり、それに応えることは大きな生きがいであった。三島大橋、本郷大橋、そして裏磐梯と大塩を結ぶ檜原ビューラインができた時は、地域の人に大変喜ばれたものだ。喜多方から会津若松、南会津を通る高規格道路の整備にも

関わらせていただいた。

中でも大きな仕事は、磐越自動車道の建設だ。田中さんが通産大臣の時、喜多方と米沢の間にトンネルを掘ってほしいと陳情するため大臣室を訪ねると、田中さんは建設省や大蔵省の官僚を同席させ、日本地図を広げ、青い線や赤い線を引いていた。私の陳情する大峠道路は、幸い建設省道路局長が出席していたので、その場で引き受けもらった。私が帰ろうとすると、田中さんは「渡部、新潟と福島を結ぶ高速道路を造ろう」と、地図に新潟、会津若松、郡山、いわきを結ぶ赤い線を引いた。その線が1997年に全線開通した磐越自動車道である。

また、私が通産大臣の時、裏磐梯で四極サミットを開催し、自然豊かな五色沼、桜満開の鶴ヶ城など、会津の素晴らしい景色を世界に発信できた。当時、地方での国際会議の開催は初めてのことである。

夢が形となって、多くの人に喜ばれた。夢を持ち続けることは大事なことだ。私の政治生活は、会津総合開発協議会とともに、いかにふるさと会津をよくするか、そればかりを考え頑張ってきた53年間であった。

会津総合開発協議会の皆様におかれましては、次代を担うこどもたちが、会津に生まれ、会津で暮らすことができて、本当によかったと思うような、素晴らしいふるさとづくりに邁進されますことをご期待いたします。

# 会津総合開発協議会設立の経緯

## ①会津総合開発協議会誕生の社会的背景

会津総合開発協議会の誕生には、昭和36年に設立された「会津地方新産業都市建設促進協議会」と密接に関係しています。

当時、国内は「岩戸景気」と呼ばれる好景気や、池田勇人内閣による国民所得倍増計画が打出されるなど、経済構造の大きな転換期にありましたが、就業構造の変化は賃金の上昇を招き、農村部の若年労働者は雇用の好条件と都市生活に憧れ、都市部へと大量に移動する要因ともなりました。

政府は国民所得倍増計画の一環として、経済の二重構造の解決などのため、賃金・農工・地域間の格差是正を打ち出し、拠点開発方式による工業集積を図るため、経済政策の転換を始め、昭和37年には全国総合開発計画の第一次計画の切り札として「新産業都市建設促進法」を制定しました。

## ②「新産業都市建設促進法の指定が外れる」

この「新産業都市建設促進法」の指定を受けるべく、会津地方においても「会津地方新産業都市建設促進協議会」が昭和36年12月に発足されました。(協議会の構成は、会津若松市、喜多方市、会津坂下町、本郷町、会津高田町、磐梯町、塩川町、の2市5町。)

昭和36年から猛運動を続け他地域と競争しましたが、昭和38年7月、福島県では常磐・郡山地区へ決定し、この時、新潟市も指定を受けたため、会津地方は両者に挟まれる地理的状況となりました。(尚、指定は全国で13ヵ所。)

## ③会津総合開発協議会の誕生

新産業都市の指定が確定した直後、福島県は新産都市に含まれない県内の地域格差是正を図るために、各地区的フォローアップに全力をつくすこととなります。

会津地方の開発促進や、経済基盤の整備拡充を図る目的で「会津地方新産業都市建設促進協議会」の構成員であった2市を中心に指導・助言を行い全会津一丸となった整備計画の作成が模索され、これら計画の推進母体となる協議会の設立が促され、発起人として、会津若松市長

横山武氏、喜多方市長 山口峻三氏、南会津地方町村会長 室井源次氏、北会津地方町村会長 永島幸一氏、耶麻地方町村会長 渡部晴松氏、両沼地方町村会長 二瓶義春氏、以上6名が各市町村へ呼びかけ、昭和38年7月、当時の北会津事務所に会津地方の全市町村長が招集されました。

その結果、全会津28市町村のマスター・プランの作成を所期の目的とし、また、その推進母体として設立されたのが「会津総合開発協議会」です。

設立当初の会員は、市町村長のみでしたが、翌年の昭和39年5月の総会において規約を改正し、新たに議會議長を本会の構成員とし、ここに、全会津市町村の首長、議長が「会津はひとつ」の合言葉のもとに一致団結する現在のスタイルが確立されます。

以来、この体制を崩すことなく、本年で50年を迎える「会津総合開発協議会」の会津を拓く取り組みがはじまることとなります。

# 50年のあゆみ

毎年定例で実施する要望会(県要望、国出先機関要望、中央省庁要望)や定例の会議(事務局会議、関係課長会議、役員会、定例総会)及び会津を拓く講演会については、省略しています。

	会津総合開発協議会の動き	会津地方の動き	県内と日本の動き
昭和38年	7月 設立総会 8月 事務局を会津若松市総務部企画課内に設置 9月 第1回役員会を開催 11月 第1回陳情及び懇談会 陳情先(会津出身の中央官僚) 会津地方総合開発調査の発注	1月 会津地方40年来の豪雪 8月 会津宮下線川口～只見間連結 11月 会津競輪場廃止 11月 雄国林道開通 12月 真木、泡の巻橋落成	4月 福島テレビ放送開始 7月 新産業都市の内定(郡山・常磐両地区) 11月 池田首相郡山で暴漢に襲われる
昭和39年	5月 総会 規約を改正し、各市町村の議会議長が参画 6月 県知事との懇談会 6月 野岩羽緯貫鉄道建設促進大会 9月 西吾妻スカイバレー早期改良期成同盟会結成 12月 会津地方の広域観光資源の調査実施	4月 伊南村大火災 6月 新潟地震(M7.5) 会津西北部中心に多大な被害 7月 会津地方に本格的な農薬のヘリコプター散布始まる 9月 鶴ヶ城再建工事開始	3月 日本鉄道建設公団設立 4月 県下に霜害6億の被害 9月 名神高速道路全線開通 10月 東海道新幹線開通 10月 東京オリンピック開催
昭和40年	4月 豪雪対策中央陳情 5月 建設大臣来訪のため陳情 7月 会津地域開発調査最終報告書検討会 8月 中央陳情(交通体系・精神薄弱者施設関係) 福島県東北自動車道建設促進期成同盟会設立 9月 福島県知事来若のため陳情 (尾瀬分水問題気象用レーダー、鉄道関係) 12月 全会津地域図作成	3月 通称沼田街道国道252号線に昇格 3月 二級国道宇都宮米沢線一般国道121号に昇格 7月 喜多方部集中豪雨 9月 会津鶴ヶ城天守閣完成 9月 福島博覧会開催 10月 上野～会津若松間特急列車運行開始	5月 郡山市大合併 6月 日韓基本条約調印 11月 南極観測船ふじ出航 11月 新安積疏水事業完工
昭和41年	8月 中央陳情 9月 会津地域図作成 11月 国営かん排に関する陳情	6月 会津方部商工観光団体協議会設立 10月 南会津東部開拓パイロット事業着手 12月 国道49号線滝沢バイパス完成	3月 日本総人口1億人突破 10月 いわき市誕生
昭和42年	6月 会津若松～只見間の電化陳情 8月 中央陳情 要望事項を最重点と重点要望に類別	4月 喜多方市外3町2カ村衛生処理組合清掃センター操業開始 5月 北塙原村大塙大火災 7月 磐越西線郡山～喜多方間電化営業開始 8月 西会津町集中豪雨7億円の損害 12月 会津計算センター開設	4月 農業短期大学開学 7月 ヨーロッパ共同体(EC)発足 10月 常磐線平～岩沼間電化開始
昭和43年	3月 災害特別委員会へ豪雪対策の陳情 9月 岡山県美作地域振興協議会との交歓会 9月 会津線・日中線廃止反対陳情 11月 会津線・日中線廃止反対陳情	10月 特急あいづ 上野～会津若松間運行 11月 七折峠改良され開通 11月 会津共同家畜市場完成	6月 小笠原諸島本土復帰 12月 3億円強奪事件

	会津総合開発協議会の動き	会津地方の動き	県内と日本の動き
昭和44年	1月 対策委員会へ豪雪対策の陳情 5月 総会 専門部会を設置する 8月 豪雨対策の陳情 9月 来県した自民党幹事長田中角栄氏に陳情 9月 中央陳情 (大雨対策用レーダー設置について) 12月 最上・会津森林地域大規模開発調査事業現地検討会の開催	1月 自由民主党雪寒対策委員会会津地方を視察 8月 集中豪雨、会津地方を襲う 金山・昭和・只見・伊南方部に被害 12月 国道289号が国道昇格	2月 磐梯熱海温泉で大火災 5月 東名高速道路全面開通 6月 福島医大紛争
昭和45年	3月 大規模林業圏陳情 5月 大規模林業圏に関する中央陳情 12月 この年、会津総合開発基本計画調査を委託	6月 磐梯ゴールドライン開通 8月 喜多方地方広域市町村圏協議会発足 9月 会津若松地方広域市町村圏促進協議会が結成(9・12) 9月 只見線六十里越の貫通式	3月 大阪で万国博覧会開催 4月 福島信夫山トンネル開通 10月 いわき市誕生 11月 作家三島由紀夫が自殺
昭和46年	1月 過疎バス対策の陳情 8月 会津線合理化に関する要望(中央、仙台) 11月 会津山地大規模林業圏開発構想試案 12月 機関紙「会津を拓く」創刊号発刊 12月 会津短期大学昇格及び昭和47年度産米の生産調整に関する陳情 12月 大規模林業圏開発推進全国大会	2月 会津に国立大学を誘致する会が中央陳情 4月 喜多方地方広域市町村圏振興整備組合及び消防本部が設立 6月 会津北部に集中豪雨 8月 只見線只見～小出間の全線開通 10月 国道49号・いわき新潟間全面舗装完工 11月 雄国山山麓開拓建設事業所開設	1月 日本国連安保非常任理事国となる 4月 福島交通東線路面電車廃止される 11月 東北新幹線起工



●昭和39年度定例総会



●昭和42年大雪 西会津町上野尻地内



●大学誘致看板  
中山峠付近  
(昭和46年設置)



●磐梯ゴールドライン開通(昭和45年)

	会津総合開発協議会の動き	会津地方の動き	県内と日本の動き
昭和47年	<p>1月 大規模林業圏開発事業に関する中央陳情 7月 会津総合開発協議会結成10周年記念式典 (本会のシンボルマークが決定)</p> <p>この年、大規模関係陳情7回、磐越西線関係陳情11回、大学に関する陳情3回実施</p>	<p>4月 会津若松地方広域市町村圏整備組合並びに消防本部が設立 6月 尾瀬只見林道(樹海ライン)開通 8月 南会津地方広域市町村圏協議会が設立 10月 雄国山麓開拓事業起工 10月 磐梯吾妻レークライン開通 12月 喜多方地方広域市町村圏組合庁舎落成</p>	<p>2月 冬季オリンピック開催 9月 田中首相訪中、日中国交正常化の共同声明に調印 12月 福島南バイパス完成</p> <p>この年、日本列島改造論発表</p>
昭和48年	<p>1月 野岩羽線(喜多方～米沢間)早期建設促進懇談会 11月 臨時総会及び大規模林業圏開発事業着工祝賀会の開催</p> <p>この年、大学に関する陳情2回、大規模関係5回を実施</p>	<p>4月 南会津地方広域市町村圏組合設立 7月 西吾妻スカイバレー開通 9月 国道252号全線開通 11月 高速横断道基本計画決定 12月 喜多方市会津北部農事務所開設</p>	<p>10月 石油ショックで国民生活と経済に危機 11月 東北自動車道、白河～郡山間開通する</p>
昭和49年	<p>2月 国道115号土湯峠改修促進協議会設立 5月 役員会並びに会津地域大規模林業圏開発推進協議会設立総会 5月 国鉄運行改善に関する陳情 6月 米価陳情</p>	<p>2月 第29回国体スキー競技猪苗代町開催 4月 南会津地方広域市町村圏組合消防本部設置 4月 会津農業センター開所 9月 南会津東部開拓パイロット事業竣工 10月 只見線、日中線でSL姿を消す</p>	<p>11月 フォード米大統領来日 12月 東北縦貫道矢板～白河間開通</p>
昭和50年	<p>1月 森林開発公団会津若松地方建設部開所式 2月 気象業務に関する陳情 10月 米価陳情(中央)</p>	<p>1月 豪雪 1月 会津若松地方水道用水供給企業団設立 3月 喜多方広域市町村圏組合環境センター山都工場竣工 4月 今市・田島・長岡の352号、茂木・白河・会津若松の294号の国道昇格 6月 大規模林道飯豊檜枝岐線山都町で起工式</p>	<p>4月 東北縦貫道岩槻～白河間全線開通 4月 ベトナム戦争終結</p>
昭和51年	<p>4月 事務局が会津若松市企画調整課より会津若松地方広域市町村圏整備組合へ移管、また地方部会制度導入 10月 冷害対策の陳情(中央) 10月 教員大学院の中央陳情 11月 会津短大の全面改築陳情</p>	<p>9月 母成グリーンライン開通 11月 野口英世生誕百年祭 12月 南会津地方広域行政センター完成</p>	<p>2月 ロッキード事件発覚、田中前首相ら逮捕 11月 立県100年記念式典</p>
昭和52年	<p>1月 豪雪に関する中央陳情 5月 総会 この総会より場所が福島市となり、県知事等多数の来賓が臨席される 10月 国鉄 副総裁 川島廣守 講演会 11月 水田再編対策に関する県陳情</p>	<p>5月 総合社会福祉教育施設「いいで荘」開業 9月 会津若松地方広域市町村圏整備組合庁舎竣工</p>	<p>9月 台風11号襲来し被害97億円 11月 第3次全国総合開発計画決定</p>

	会津総合開発協議会の動き	会津地方の動き	県内と日本の動き
昭和53年	1月 県立病院の整備強化 1月 高速道路陳情(仙台及び中央要望) 8月 集中豪雨災害対策陳情 8月 高速道路関係の中央陳情 12月 育成補助金存続の陳情	4月 河東町誕生 県内で52番目の町となる 4月 第一期水田利用再編対策実施 6月 集中豪雨 11月 東北横断自動車道郡山～猪苗代間整備計画施行命令が出される。	5月 成田空港開港 6月 宮城県沖地震
昭和54年	1月 中央陳情(国鉄野岩羽線と高速道路整備) 3月 赤字ローカル線廃止反対中央陳情 6月 野岩羽線建設期成同盟会総会開催 10月 異常気象による米の品質低下による全量買い上げに関する陳情 12月 伊東正義内閣官房長官就任祝賀式	6月 会津若松市に夜間急病センター開業 8月 会津地方がモデル定住圏に選定される	6月 省エネルギー法が施行
昭和55年	2月 自民党豪雪視察団に対し雪害対策の陳情 3月 衆議院災害対策特別委員会に対する陳情 3月 赤字ローカル線中央陳情 5月 安倍晋太郎政調会長の来若に伴う陳情 9月 伊東外務大臣就任祝賀式 10月 冷害に関する陳情	2月 会津地方に豪雪 7.8月 異常低温による大冷害 10月 大峠起工式 12月 野岩線工事再開と第3セクター経営が決定	10月 国勢調査行われる、県の人口 2,035,302人



●設立10周年記念式典(昭和47年)



●新ルートが決定した旧大峠(昭和48年)



●中央陳情の様子



●国道49号 西会津バイパスの整備が進む

	会津総合開発協議会の動き	会津地方の動き	県内と日本の動き
昭和56年	1月 日中・只見・会津線廃止反対陳情 (国会議員) 1月 自民党異常豪雪被害地視察に対する陳情 2月 日中・只見・会津線廃止反対中央陳情 2月 農作物の冷害・豪雪対策に関する陳情 11月 冷害対策に関する中央陳情	4月 県道田島・金山線が国道400号、山口～内川間国道401号に昇格 12月 国道121号付け替え道路完成(大川ダム)工事に関連	6月 テクノポリス構想による建設候補地選定 8月 台風15号の被害256億円超し戦後最大
昭和57年	1月 高速道路整備格上げに関する御礼(中央) 12月 冷害に関する中央陳情	3月 東北横断自動車道猪苗代～会津坂下間整備計画決定 11月 駒止トンネル開通	6月 東北新幹線開通 (大宮～盛岡間) 11月 上越新幹線開通
昭和58年	1月 建設大臣来福のため陳情 1月 会津線存続推進連絡会議設立 2月 国鉄会津線・日中線存続推進連絡会議 5月 松平知事勲一等旭日大綬章受賞祝賀会 6月 大学設置の陳情 8月 会津線ダイヤ改正とスピードアップの陳情	11月 国鉄日中線の廃止が決定	5月 日本海中部地震M7.7 6月 参議院議員選に初の比例代表制を導入
昭和59年	1月 渡部恒三厚生大臣就任祝賀会 2月 東北地建局長来若に伴う陳情 2月 東北横断自動車道整備計画路線昇格陳情(中央) 4月 会津線の存続に係る中央陳情 6月 国出先機関陳情仙台・新潟方面	2月 会津地区東北横断道建設促進期成同盟会設立(2・9) 3月 日中線廃止 11月 東北横断自動車道猪苗代～会津坂下間施行命令が出される	3月 グリコ、森永脅迫事件
昭和60年	9月 建設省道路局次長へ道路に関する要望 10月 建設省国道第二課長へ道路に関する要望 11月 建設省国道第二専門官へ道路に関する要望 11月 建設大臣へ道路に関する要望	10月 雄国国道全線舗装開通 11月 会津地方豊作	3月 東北新幹線上野乗入れ 3月 科学万国博覧会開会 8月 日航機群馬山中に墜落
昭和61年	3月 臨時総会 会津線第3セクター方式を全会津の総意とし、決議文を県知事あてに提出 7月 会津線出資について会議 8月 臨時総会(会津線第3セクター化に係る出資金及び経営安定基金について)	1月 東北横断自動車道 会津坂下～津川間整備計画決定 8月 集中豪雨 10月 野岩鉄道 会津鬼怒川線が開業 10月 県立博物館開業	4月 天皇在位60年記念式典 7月 東北縦貫自動車道全線開通 11月 土湯トンネル開通
昭和62年	2月 臨時総会(会津鉄道運営助成基金積立計画及び精神薄弱者更生施設建設に係る負担区分について) 9月 県陳情(会津短大の4年制昇格・会津線の電化及び喜多方までの運行延長)	7月 第3セクター・会津鉄道会津高原～西若松間が開業	4月 国鉄を分割・民営化、J Rがスタート 10月 東北横断自動車道いわき～新潟間着工
昭和63年	10月 臨時総会(異常気象に関する協議) 10月 松平知事を送る会 11月 正副会長、部会長による冷害対策中央陳情 12月 雪寒事業について陳情	1月 東北横断自動車道 会津坂下～津川間施行命令が出される 7月 会津フレッシュリゾート構想承認 7月 本郷大橋開通	7月 阿武隈急行開業 8月 イラン・イラク戦争停戦 9月 福島空港建設工事着工

	会津総合開発協議会の動き	会津地方の動き	県内と日本の動き
平成元年	5月 国会議員へ過疎振興策の充実の陳情 9月 渡部恒三自治大臣・国家公安委員長就任祝賀会	9月 国道115号土湯トンネル開通 10月 国道49号中山トンネル開通 11月 東北横断自動車道 いわき～新潟線の名称「磐越自動車道」に決定(以下、磐越道と表記)	1月 昭和天皇崩御、平成へ 6月 美空ひばりさん死去 6月 天安門事件 11月 ベルリンの壁崩壊
平成2年	10月 東北地建局長へ正副会長陳情	10月 会津線(会津高原～田島)電化開業 10月 磐越道・郡山JCT～熱海IC間が開通 10月 国道252号 川口トンネル開通 10月 国道49号 宮古橋開通	1月 磐越道いわき・郡山間起工式 7月 ふくしま国体開催内定
平成3年	2月 会津を拓く講演会講師建設省道路局次長へ道路に関する陳情	8月 磐越道の磐梯熱海～猪苗代間が開通 10月 春日八郎氏死去	6月 東北新幹線東京乗り入れ実現 12月 ソ連消滅 ロシアへ



●農業基盤整備が進む(湯川村・旧北会津村)



●国道252号 高清水橋開通(昭和61年)



●国道252号 川口トンネル開通(平成2年)



●本郷大橋開通(昭和63年)

	会津総合開発協議会の動き	会津地方の動き	県内と日本の動き
平成4年	1月 渡部恒三通商産業大臣並びに通産省官僚に対する陳情 1月 渡部恒三通商産業大臣就任祝賀会 10月 渡部恒三通商産業大臣講演会及び陳情	4月 国道121号大峰道路が開通 8月 磐越道の猪苗代～会津坂下間が開通 11月 国道400号舟鼻トンネル開通	3月 福島空港開港
平成5年	2月 地域振興整備公団副総裁 北村廣太郎氏講演会(本会後援) 7月 会津大学開学記念式典 10月 冷害に対する陳情(県及び中央)	4月 国道118・401・459号の3路線国道昇格 4月 会津大学開学 12月 郡山～会津間新型特急ビバあいづ運行	4月 福島地方を地方拠点都市に地域指定
平成6年	5月 磐越道4車線化の早期実現に関する陳情(国、日本道路公団、県ほか) 6月 羽田孜内閣総理大臣来訪に伴う記念講演会 10月 磐越道4車線化の早期実現に関する陳情(国、日本道路公団) 11月 地域高規格道路に関する要望(建設省) 11月 野坂建設大臣来訪に伴う陳情 (磐越道、高規格道路、会津フレッシュリゾート構想推進ほか)	5月 伊東正義前代議士死去 7月 猛暑干ばつ、農作物に影響 9月 地方拠点都市に会津地方19市町村指定 12月 会津縦貫北道路計画路線に指定 12月 あいづドーム完成	4月 名古屋で中華航空機事故 264人死亡 8月 記録的猛暑 空前の渇水被害
平成7年	5月 磐越自動車道4車線化の早期実現に関する陳情(国、日本道路公団)	8月 会津縦貫北道路調査区间に指定 12月 一般国道400号舟鼻峠開通	1月 阪神大震災発生 3月 地下鉄サリン事件 8月 磐越道いわき～郡山開通
平成8年	10月 会津スマートバレー・フォーラム (於:会津大学講堂) 講師:ビル・ミラー氏	8月 会津縦貫北道路整備区间に格上げ 10月 磐越道 会津坂下IC～西会津IC供用開始	7月 O157食中毒猛威をふるう
平成9年	1月 磐越道4車線化の早期延伸に関する陳情(日本道路公団) 2月 渡部恒三衆議副議長就任祝賀会 3月 國井利泰会津学長を囲む感謝の集い 3月 白川勝彦自治大臣への要望 4月 磐越道全線開通を祝う集い 9月 瓦力建設大臣への要望	10月 磐越道西会津～津川間が供用開始し全線開通	3月 磐越西線中山宿駅のスイッチバックが廃止 4月 郡山市が中核市移行 4月 消費税5%スタート 7月 Jヴィレッジオープン
平成10年	5月 建設省に対する合同要望会 (会津縦貫南道路の計画路線への格上げ、 磐越道4車線いわき新潟線の4車線化) 6月 森喜朗自民党総務会長に対する緊急要望 (磐越道4車線化、高規格道路の整備ほか) 6月 堀内光雄通商産業大臣に対する要望 (磐越道4車線化、高規格道路の整備ほか)	6月 栃木西部・会津南道路 (田島～今市間)候補路線に指定 8月 会津レクリエーション公園オープン 10月 国道289号 甲子道路工事着手	8月 県南中心に集中豪雨、台風被害 10月 ビッグパレットふくしまオープン
平成11年	11月 会津を拓く講演会 講師:佐藤栄佐久福島県知事 「21世紀の会津地方の展望」	10月 会津若松熱塩温泉自転車道路 会津若松(高田橋～会津大橋)～喜多方間(舞台田橋～願成橋)開通 12月 会津縦貫南道路調査区间に指定(下郷町小沼崎～塩生)	8月 トルコ、台湾の地震で死者多数

	会津総合開発協議会の動き	会津地方の動き	県内と日本の動き
平成12年	10月 研修会「最近の道路情勢について」 郡山国道工事事務所長、調査課長	5月 降ひょうで会津に被害	7月 アクアマリンふくしまオープン
平成13年	11月 次年度予算確保に対する緊急要望(国)	4月 福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター新築移転 10月 磐越道(磐梯山SA～磐梯河東間)4車線化開通 11月 国道289号 甲子道路大松川バイパス開通	7月 うつくしま未来博開催 9月 米国で同時多発テロ
平成14年	12月 会津鉄道の支援についての県要望	4月 各高等学校男女共学化により校名改称	4月 学校完全5日制実施
平成15年	3月 会津ナンバー新設の緊急要望 (国土交通省) 6月 第2回「ナンバープレートの地域名表示細分化等に関する懇談会」(国土交通省) 8月 会津ナンバー署名提出(国土交通省宛て) 10月 臨時総会(野岩鉄道の支援について)	6月 会津縦貫北道路(塩川～湯川間)工事着工 7月 国道289号甲子トンネル(下郷側)着工 10月 会津鉄道喜多方駅乗り入れ	10月 冷害で農作物に打撃 この年、米英がイラク攻撃、フセイン政権崩壊
平成16年	11月 岩井國臣国土交通副大臣、額賀福志郎前自民党政務調査会長に対する緊急要望 (磐越道、高規格道路、会津ナンバー、会津・野岩鉄道に対する支援について) 12月 参議院国土交通委員会に対する緊急要望 (磐越道4車線化、若松IC会津坂下IC間の新ICの設置、高規格道路の整備ほか)	5月 国道289号甲子トンネル(西郷側)着工 11月 北会津村が会津若松市に合併 11月 野口英世の新千円札発行	8月 アテネ五輪日本勢躍進 10月 新潟県中越地震



●国道459号 国道へ昇格(平成5年)



●会津鉄道喜多方駅乗り入れスタート  
(平成15年)



●平成の大合併

	会津総合開発協議会の動き	会津地方の動き	県内と日本の動き
平成17年	<p>1月 会津ナンバー新設について街頭アンケート          4月 会津ナンバー新設の要望(県)          5月 会津ナンバー新設の要望(東北運輸局)          7月 会津ナンバー新設の要望                (国土交通省自動車交通局長)          7月 会津ナンバー新設に係る県知事との合                同要望(国土交通副大臣、国土交通事務                次官)          10月 第1回新たな地域名表示ナンバー連絡                協議会</p>	<p>7月 あいづデスティネーション                キャンペーン開催          10月 会津高田町、会津本郷町、                新鶴村が合併し、会津美                里町が発足          11月 河東町が会津若松市に合併</p>	<p>7月 アスベスト問題、県内にも                波及          10月 日本道路公団など分割民                営化</p>
平成18年	<p>10月 新たな地域名表示ナンバー連絡協議会                (4回開催)          10月 会津ナンバー誕生出発式(福島運輸支局)          10月 会津ナンバー誕生記念セレモニー                会津ナンバー交換イベント</p>	<p>1月 塩川町、山都町、高郷村、                熱塩加納村が喜多方市に                合併。          3月 田島町、南郷村、館岩村、                伊南村が合併して南会津                町が発足          5月 県営会津若松レクリエー                ション公園全面オープン          8月 国道289号の甲子トンネル                貫通          10月 会津ナンバー交付          12月 新鶴PAスマートIC社会実                験開始</p>	<p>7月 ジャワ島地震で死者約6                千人          10月 北朝鮮が地下核実験</p>
平成19年	<p>3月 中川秀直自民党幹事長に対する要望会          5月 東北運輸局要望(会津ナンバー普及促進)          7月 冬柴鐵三国土交通大臣に対する要望会          8月 臨時総会(道路特定財源確保を求める決議)          10月 会津ナンバー交換イベント開催(3回)          12月 臨時総会(2009年FISフリースタイルスキーワールド選手権猪苗代大会の支援について)</p>	<p>4月 新鶴スマートIC供用開始          8月 尾瀬国立公園が誕生</p>	<p>3月 能登、中越沖地震          7月 新潟県中越沖地震          8月 南米ペルーでM8の地震、                死者540人</p>
平成20年	<p>2月 道路特定財源確保を求める緊急要望                (顧問国会議員)          9月 笹川堯自民党総務会長来訪に伴う要望                (地域高規格道路の整備促進・道路財源                確保、会津米の消費拡大と安定生産に                ついて)          10月 会津職業能力開発センターの存続につ                いての緊急要望(国)</p>	<p>10月 国道289号甲子道路開通</p>	<p>1月 中国製冷凍ギョーザ中毒                発生          8月 中国五輪開催</p>
平成21年	<p>6月 与謝野馨財務大臣来訪による要望活動          8月 会津地域の経済再生に向けた支援に關                する要望(県)</p>	<p>3月 猪苗代町でFISフリースタ                イルスキーワールド選手権大会                開催          10月 会津縦貫北道路 塩川～                湯川北IC開通</p>	<p>3月 高速道路土日休日1000円                割引制度          8月 新型インフル大流行</p>
平成22年	<p>11月 電源立地地域対策交付金、TPPへの交                渉参加、森林病害虫防除事業の拡充に                ついての緊急要望(国)</p>	<p>12月 会津豪雪、国道49号で車                300台立ち往生</p>	<p>8月 チリ落盤事故33人生存          11月 中国漁船衝突映像ネット                流出</p>

	会津総合開発協議会の動き	会津地方の動き	県内と日本の動き
平成23年	1月 豪雪・雪害に関する緊急要望(国) 4月 原子力災害による農畜産物被害に関する緊急要望(国) 4月 緊急役員会(東日本大震災への対応) 4月 風評被害払拭への緊急要望(県) 5月 風評被害払拭への緊急要望(国) 7月 風評被害払拭への緊急要望(観光団体等) 9月 会津の豪雨災害に関する緊急要望(顧問国会議員) 10月 平野達男内閣府防災担当大臣が会津地の豪雨被害視察	7月 新潟・福島豪雨により会津地方被害 11月 会津縦貫北道路 喜多方～塩川IC開通	3月 東日本大震災発生 4月 原発事故により県農畜産物に出荷措取制限 8月 急激な円高株安、県内にも影響 9月 県人口200万人割れ
平成24年	1月 地域高規格道路整備に関する要望(国) 1月 原発事故に伴う賠償範囲見直しに係る要望(国) 7月 風評被害払拭への緊急要望(観光関連団体) 7月 ふくしま産業復興企業立地補助金予算拡充緊急要望(国) 11月 会津、野岩鉄道の支援継続に対する臨時総会	4月 会津縦貫南道路 湯野上バイパスが国直轄権限代行事業へ採択	5月 東京スカイツリー開業 7月 ロンドン五輪開催 9月 尖閣諸島国有化
平成25年	2月 政権交代に伴う緊急要望(国) 10月 設立50周年記念講演会・記念式典・祝賀会	1月 NHK大河ドラマ「八重の桜」放映開始 9月 会津縦貫北道路湯川北～湯川南IC間開通	9月 2020夏季五輪、東京に決定



●あいづデスティネーションキャンペーン開催(平成17年)



●尾瀬国立公園誕生(平成19年)



●FISフリースタイルスキー世界選手権大会開催(平成21年)



●新潟・福島豪雨被害(平成23年)



# 会津を拓く講演会

中央官庁あるいは専門分野のエキスパートをお招きし、情報の収集と会員の研鑽そして「会津を拓く」ことを目的に、年1回を基本とした講演会を、継続開催している。

開催状況(昭和44年度～平成25年度)

年月日	演題	講師
昭和44.10.28	内外の諸情勢について	法政大学 教 授 田 中 直 吉 氏
	わが国農業の現況と課題について	全国町村会経済農林部 部 長 大久保 毅 一 氏
昭和46.2.8	農業は必ずこうなる 外	(財)新農政研究所 副 所 長 武 田 邦太郎 氏
昭和46.6.15	70年代の地域開発	経済企画庁 総合開発局 参 事 官 下河辺 淳 氏
昭和46.12.4	地域開発今後の動向	東京女子大学 教 授 伊 藤 善 一 氏
昭和47.11.13	高速道路計画とその影響について	建設省東北地方建設局 企画部長 残 間 隆 氏
昭和48.5.31	国土改造施策と東北及び会津の開発	経済企画庁総合開発局 東北開発室長 久 世 公 曜 氏
昭和49.10.4	内外の経済情勢と我が国の進むべき途	大蔵省 官 房 長 松 川 道 哉 氏
昭和52.10.20	国鉄野岩羽線と地域の開発について	日本鉄道建設公団 副 総 裁 川 島 廣 守 氏
昭和53.10.27	道路と地域開発の一考察について	社団法人日本土木工業協会 常務理事 小 沼 敬 八 氏
昭和54.10.13	田園都市構想と定住圏	国土庁 顧 問 下河辺 淳 氏
昭和55.11.14	会津地域の開発と地場産業	福島大学経済学部 教 授 下平尾 黙 氏
昭和56.11.20	高速交通時代と会津定住圏	前国土庁計画・調査局主任計画官 現福井医科大学教授 今 野 修 平 氏
昭和57.10.21	会津地域の発展と地域経済	自治省大臣官房 企画室長 金 子 清 氏
昭和58.11.15	新しい時代の町づくりむらづくり	日本経済新聞社 編集委員 五十嵐 富 英 氏
昭和59.7.19	これからの東北農業と今後の課題	農林水産省東北農政局 局 長 永 井 和 夫 氏
	稲作多収穫による高所得の体験事例	天皇杯受賞者 中 田 正 雄 氏
昭和60.9.12	高速自動車道の現状と今後の道路行政	建設省道路局 次 長 北 村 廣太郎 氏
昭和61.7.25	我々はこれからどう生きるか	元日本鉄道建設公団総裁・セントラル野球連盟 会 長 川 島 廣 守 氏
昭和62.11.19	国土開発と第四次全国総合開発計画	国土庁計画・調整局 計画課長 春 日 尚 徳 氏
昭和63.11.24	地域振興とリゾート整備	国土庁地方振興局 総務課長 吉 原 孝 司 氏
平成元.11.30	地域活性化と道路整備	建設省東北地方建設局 企画部長 清 水 孝 一 氏

年月日	演題	講師
平成3.2.20	交流の時代をリードする道路戦略	建設省道路局 次長 黒川 弘氏
平成4.1.21	総合交通手段と地域振興政策	運輸省運輸政策局 地域振興企画官 安原 敬裕氏
平成4.6.2	地方拠点都市地域の整備について	建設省都市局都市政策課 課長補佐 村野 清文氏
平成5.10.19	会津を拓くふくしま新世紀プラン	福島県知事 佐藤 栄佐久氏
平成6.11.21	高速道路をとりまく最近の話題	日本道路公団企画部長 小笠原 常資氏
平成7.11.2	新しい会津の地域づくり	建設省大臣官房会計課企画官 川本 正一郎氏
平成8.11.5	新しい全国総合開発計画について	国土庁計画・調整局 計画官 五十嵐 太乙氏
平成9.11.11	新たな道路整備五箇年計画(案)について	建設省道路局道路事業調整官 北橋 建治氏
平成10.11.4	グリーン・ツーリズムの広域的推進について	農林水産省構造改善 局構造改善事業課長 山川 雅典氏
平成11.11.10	「21世紀の会津地方の展望」について	福島県知事 佐藤 栄佐久氏
平成12.11.24	会津地域の活性化と観光振興について —「観光」から「感光」の時代—	株式会社 玄 代表取締役 政所 利子氏
平成13.12.4	21世紀のわが国観光のあり方について	社団法人経済団体連合会 産業本部長 林 正氏
平成14.11.18	地方財政50年の成果と課題	総務省自治財政局交付税課長 岡本 全勝氏
平成16.1.22	自然と産業が調和した魅力ある会津の地域づくり	福島県知事 佐藤 栄佐久氏
平成16.8.4	個性を活かす地域経営とは	前三重県知事 北川 正恭氏
平成17.11.15	自動車交通行政と地域交通の活性化について	国土交通省自動車交通局次長 松尾 庄一氏
平成19.2.1	国土形成計画における地域の将来展望	国土交通省国土計画局地方計画課長 道上 浩也氏
平成19.11.7	これから的地方財政	総務省自治財政局 財政課長 佐藤 文俊氏
平成20.2.20	観光は地域の総合産業	株式会社JTB 常務取締役 清水慎一氏
平成21.1.28	地域振興に向けた広域観光のあり方について	東日本旅客鉄道株式会社 常務取締役 見並陽一氏
平成22.1.27	からの観光戦略と地域振興について	東日本旅客鉄道株式会社 取締役仙台支社長 田浦芳孝氏
平成22.10.21	国の観光戦略とからの会津について	国土交通省観光庁観光地域振興部長 田端 浩氏
平成24.2.13	地方自治体と民間企業の連携による 復興再生と地域活性化について	ゼビオ株式会社 代表取締役社長 諸橋友良氏
平成25.2.26	地方財政の展望と今後の自治体経営について	総務省自治財政局 公営企業課長 木幡 浩氏
平成25.10.21	地域経済の発展に向けて	経済産業省 東北経済産業局長 守本 憲弘氏

# 会津を拓く重点要望事項

## 平成25年度要望事項

### 【最重点要望事項】

- ◆東日本大震災並びに原子力災害に関する最重点要望  
◆会津地方の豪雨被害復旧に関する最重点要望  
(JR只見線全線復旧要望ほか)

### 【主に国への重点要望事項】

- |                               |                             |
|-------------------------------|-----------------------------|
| ①地方財源の充実と確保について               | ⑭企業誘致支援と金融対策支援について          |
| ②医療に関する施策について                 | ⑮東北横断情報通信グローバルネットワーク構築について  |
| ③介護に関する施策について                 | ⑯技術者の資格取得に要する実務経験年数の短縮化について |
| ④子育て・少子化対策について                | ⑰安全・安心なまちづくりについて            |
| ⑤福祉施策に係る地方負担の見直しについて          | ⑱情報通信基盤の整備について              |
| ⑥道路の整備促進について                  | ⑲過疎地域の活性化について               |
| ⑦地域高規格道路の整備促進について             | ⑳飯豊連峰の世界自然遺産登録について          |
| ⑧磐越自動車道4車線化の早期延伸等について         | ㉑鉄道の充実・強化について               |
| ⑨八十里越(国道289号)の整備促進について        | ㉒交通施策の充実と買い物弱者支援について        |
| ⑩森林整備と林業振興について                | ㉓湖沼、河川等水質の環境基準の見直しについて      |
| ⑪農業の振興について                    | ㉔空き家対策について                  |
| ⑫環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)への交渉参加について | ㉕小規模校における教職員等配置について         |
| ⑬農村地域復興再生基盤総合整備事業の対象地域の拡大について |                             |

### 【主に県への重点要望事項】

- |                            |  |
|----------------------------|--|
| ①只見川電源流域の振興について            | ⑫県営工業団地の整備について                               |
| ②子育て・少子化対策について             | ⑬森林整備と森林資源の活用について                            |
| ③18歳以下の医療費無料化について          | ⑭ふくしま森林再生事業の対象区域の拡大について                      |
| ④ふくしまっ子体験活動応援事業について        | ⑮農業振興への支援について                                |
| ⑤小規模校における教職員等配置について        | ⑯農村地域復興再生基盤総合整備事業の対象地域の拡大について                |
| ⑥県営武道館の建設について              | ⑰一般国道および主要地方道の整備について                         |
| ⑦県立猪苗代高等学校への総合スポーツ学科新設について | ⑱情報通信基盤の整備について                               |
| ⑧鉄道の充実・強化について              | ⑯会津医療センター、県立宮下病院及び県立南会津病院の整備拡充と医師・看護師の確保について |
| ⑨交通施策の充実と買い物弱者支援について       | ㉐自然環境の保全対策について                               |
| ⑩会津大学を中心とした産学官連携の推進について    |  |
| ⑪工業系の高度産業人材育成機関の設置について     |  |

### 【参考】設立当初要望事項(昭和38年度)

- |                                    |                          |
|------------------------------------|--------------------------|
| ①国鉄野岩羽線の建設実現促進について                 | ⑤県道田島・金山線の改良整備について       |
| ②二級国道宇都宮・米沢線の格上げ並び改良舗装促進について       | ⑥国鉄線只見線の整備と危険防止対策措置方について |
| ③二級国道宇都宮・米沢線の改良整備と国際観光ルートへ指定促進について | ⑦県道猪苗代・塩川線の改良整備について      |
| ④二級国道柏崎・会津若松線の改良舗装促進について           | ⑧一級国道新潟・平線の改良舗装促進について    |
|                                    | ⑨国鉄磐越西線の電化電車化促進について      |
|                                    | ⑩国鉄線会津線の輸送改善促進について       |

# 会津総合開発協議会 顧問・参与名簿

〈平成25年10月1日現在〉

(敬称略)

顧問

参与

# 会津総合開発協議会 会員名簿

<平成25年10月1日現在>

(敬称略)

## 市町村長

会津若松市	市長	室井照平	平也
喜多方市	市長	口山信學	祥久
下郷町	長	星山	市公
檜枝岐村	長	星星	一勝
只見町	長	目五十	英雄
磐梯町	長	黒嵐後	一司
猪苗代町	長	前棕	夫允
北塩原村	長	伊藤藤	敏吉
西会津町	長	大塚	文節
湯川村	長	大井二	庄隆
柳津町	長	長谷川	律孝
三島町	長	馬場	英英
金山町	長	渡部	宗
昭和村	長	大	
会津美里町	長		
南会津町	長		

## 市町議會議長

会津若松市	議會議長	戸齋藤	朗
喜多方市	議會議長	佐藤	一一二
下郷町	議會議長	星齋	夫保
檜枝岐村	議會議長	穴鈴	喜眞
只見町	議會議長	木椋	廣平
猪苗代町	議會議長	小武齊	一浩
北塩原村	議會議長	小田	一雄
西会津町	議會議長	崎柴	治嚴
湯川村	議會議長	小谷	長順
柳津町	議會議長	長渡	
三島町	議會議長	鈴芳賀	
金山町	議會議長	沼木	
昭和村	議會議長	長谷	
会津美里町	議會議長	渡鈴	
南会津町	議會議長	芳賀沼	

### **資料提供(順不同)**

国土交通省東北地方整備局郡山国道事務所  
福島県

公立大学法人 会津大学

会津方商工観光団体協議会

福島民報社

福島民友新聞社

全会津17市町村

会津総合開発協議会の  
シンボルマーク



昭和47年7月28日に  
本会の10周年を記念して、  
一般公募により制定された  
シンボルマークです。

- 編集・発行／会津総合開発協議会
- 発 行 日／平成25年10月21日
- 印 刷／有限会社田 中 印 刷